

会 告 目 次

学会誌の広告についてお知らせとお願い	色紙
平成 6 年度第 36 回通常総会の開催について	2
「ソフトウェア開発における仕様記述法とその適用」特集号への論文投稿のご案内	2
研究発表会開催通知	3
第 6 回グループウェア研究会	3
平成 6 年度研究会への登録はお済みですか?	6
「マルチメディア情報システムの産業応用」研究グループ終了にあたって	7
ソフトウェア工学研究会小規模国際会議論文募集	7
大学等における情報システム学の教育の在り方に関する調査研究報告書頒布のお知らせ	8
情報処理学会「行事」申込書	9
ビジネス・プロセス・リエンジニアリングのための最新情報テクノロジーの理論と実践	10
「ソフトウェアプロセス・シンポジウム」開催について	12
SPP'94 参加者募集	14
DA シンポジウム'94」論文募集	19
「グラフィクスと CAD」シンポジウム論文募集	20
第 7 回学協会共通問題に関する討論会	21
第 24 回国際会議のための準備セミナー	21
1994 年「工学教育」連合講演会	22
1994 年度にあたって (お願い)	24
通信プロトコルのテストに関するワークショップ論文募集	25
支部だより	26
学会協賛等の行事案内	26
女官募集	27
催報	29
議案内	30
集室	31
論文誌査読委員	32

平成6年度 第36回 通常総会の開催について

平成6年度通常総会を下記により開催いたします。ぜひご出席ください。なお、総会の案内状は、正会員各位に4月下旬別途郵送いたします。ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

記

日 時	平成6年5月20日（金）16:00～17:40
会 場	工学院大学3階312教室（東京都新宿区西新宿 1-24-2）
総会次第	1. 会長のあいさつ 2. 平成5年度事業報告および決算報告 3. 平成6年度事業計画および決算審議 4. 名誉会員の推挙 5. 平成5年度功績賞の発表と表彰 6. 平成5年度論文賞の発表と表彰 7. 平成5年度 Best Author賞の発表と表彰 8. 平成5年度坂井記念特別賞の発表と表彰 9. 平成6年度新役員の選定 10. その他

なお、総会終了後ささやかな懇親パーティ（無料）を行います（エステック情報ビル4階）。会員が一堂に会し、直接お話ができる得難い機会ですので、皆さまのご出席をお待ちしております。

情報処理学会論文誌

「ソフトウェア開発における仕様記述法とその適用」特集号への論文投稿のご案内

論文誌編集委員会

情報処理学会の論文誌において、下記の要領で「ソフトウェア開発における仕様記述法とその適用」をテーマに特集号を企画しております。ここで、仕様記述法とは、ソフトウェアの開発における、要求仕様、設計仕様、プログラム仕様など広範囲な仕様の記述・作成法を意味します。当学会のソフトウェア工学研究会主催の研究会・シンポジウム等で「仕様記述法とその適用」に関して発表された方々、およびこれに関連した研究開発者の方々に対して、広く募集しますので奮ってご投稿下さいますようお願いいたします。

投 稿 要 領

論文の執筆要領	「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内によります。 現在の論文投稿規約は学会誌 1993年1月号に、規約の一部改訂が学会誌 1993年8月号に掲載されています。
査読手続き	通常の論文誌投稿論文と同一です。
投稿締切り	1994年7月29日（金） 投稿論文には、「仕様記述」特集と朱書して下さい。
特集号予定	1995年 春

本特集号への投稿論文は、一般投稿論文と全く同じ要領で査読手続きが行われます。採録された論文は、一括掲載されるという利点があります。

研究発表会開催通知

(平成6年 3月15日～4月30日)

研究会名	日 時		会 場	備 考
情報システム	3月15日(火)	10:00～17:00	日本ユニシス	前号参照
*アルゴリズム	3月17日(木) 3月18日(金)	10:00～12:20 10:00～15:00	工学院大	同上
*コンピュータビジョン	3月17日(木) 3月18日(金)	14:00～16:00 13:30～17:30	同上	同上
自然言語処理	3月17日(木) 3月18日(金)	13:00～16:40 9:40～16:40	北陸先端大	同上
オーディオビジュアル複合情報処理	3月18日(金)	9:30～18:00	A T R	同上
データベースシステム	3月18日(金)	10:00～17:20	工学院大	同上
記 号 処 理	3月18日(金)	10:30～16:30	NTT(武蔵野)	同上
システムソフトウェアとオペレーティング・システム	3月22日(火)	10:30～16:45	同上	同上
グループウェア	4月28日(木)	10:00～17:00	機械振興会館	下記参照

* 研究会同時開催

▶第6回 グループウェア研究会

(発表件数:9件)

(主査:松下 温, 幹事:岡田謙一, 守屋康正, 山上俊彦)

日 時 平成6年4月28日(木) 10:00～17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 研修1号室

[東京都港区芝公園3-5-8, 地下鉄:日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, またはJR:浜松町下車,
バス:渋谷-東京タワー線東京タワー, 渋谷-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, Tel.(03)3434-8211]

主 題

- 10:00-11:45 -

1) ALV アーキテクチャによる共同作業支援環境

中村竜也 (NTT データ)

概要] OODB上のデータを共有するGUI 構築手法としてALV を適用した共同作業支援環境の考察と開発事例を報告。

2) マルチメディアメール技術を用いたソフトウェア開発文書の流通システムについて

増尾 剛 (NTT)

概要] 帳票などの専用WP文書をWS/NW 上でマルチメディアメールとして流通させるソフト開発環境について報告。

3) フォームベースソフトの処理定義用ビジュアルプログラミング環境の試作と有効性の評価

田中匡史, 小泉 忍, 小池 博 (日立)

概要] 伝票処理を行うソフトを視覚化した環境で開発できるシステムを試作し, 有効性の評価を行った。

- 12:45-17:00 -

1) 共同可視化解析支援システムの提案

武宮 博, 橋 祐一 (日立), 布川博士, 宮崎正俊 (東北大)

概要] 分散環境上での複数の作業による可視化を用いたデータ解析を支援するシステムを提案する。

2) 協調計算システムの動作仕様群の分散実行系

今城広志, 尹 達雄, 岡野浩三, 東野輝夫, 谷口健一 (阪大)

概要] マルチメディア情報を含む協調計算システムの動作仕様群を分散実行する処理系について述べる。

3) 大規模分散WSシステム上で動作する電子黒板と授業への応用

山之上卓, 藤木健士, 清水 真 (九工大), 安在弘幸 (九州共立大)

概要] 大規模分散WSシステム上で動作する電子黒板を開発し, 英語などの授業で利用している。

4) 人間の主観的要素を考慮した多重作業支援システム

塚田晃司, 岡田謙一, 松下 温 (慶大)

概要] 作業の切替え時における作業者の主観を考慮した多重作業支援システムについて述べる。

5) 電子的共同作業空間はユーザに何を提供すべきか

中山良幸, 森賢二郎 (日立)

[概要] グループウェアの目的は共同作業の中でユーザが遭遇する障害的状况を解消する方策の提案である。

(9) 特別講演: 集団的浅慮 (groupthink) をめぐって - 社会心理学における研究の動向 - 渥美公秀 (神戸大)

[概要] 「3人よれば文珠の知恵」でない集団意思決定に関する社会心理学の研究例を紹介し、今後を展望する。

~~~~~

**\*\*\* 研究会 発表論文募集 \*\*\***

◆計算機アーキテクチャ研究会

日 時 平成6年6月13日(月) 9:00~17:00

会 場 三洋電機マーケティングプラザビル(御茶の水)

\*研究会終了後、三洋電機東京情報通信研究所の見学を予定しています。

発表申込締切 平成6年4月8日(金)

発表申込方法 研究会発表申込書の様式で、発表題目、発表者名、略称所属、概要(50字程度)、発表申込者連絡先(住所、氏名、Tel., Fax., e-mail)をご記入のうえ、下記宛、電子メールまたはFax. で直接お申込みください。なお、できるだけ電子メールでお願いいたします。

申込・問合せ先 木村康則(富士通研) e-mail:ykimura@flab.fujitsu.co.jp

Tel.(044)754-2665(直通) Fax.(044)754-2664

◆ハイパフォーマンスコンピューティング研究会

日 程 平成6年6月17日(金) \*日程が変更となっております。

会 場 慶應義塾大学(日吉メディアセンター)

問合せ先 福井義成(東芝) Tel.(044)548-2782 Fax.(044)548-8985

◆グラフィクスとCAD研究会

日 程 平成6年7月8日(金)

会 場 東京大学(山上会館)

議 題 特集: バーチャルリアリティと一般

発表申込締切 平成6年4月30日(土)(締切厳守)

問合せ先 廣瀬通孝(東大) Tel.(03)3812-2111(ext.6367) Fax.(03)3818-0835

e-mail:hirose@ihl.t.u-tokyo.ac.jp

山口 泰(東大) Tel.(03)3467-1171(ext.459) Fax.(03)3465-2896

e-mail:yama@graco.c.u-tokyo.ac.jp

\*テレビジョン学会(画像処理とコンピュータビジョン研究会)と共催。

◆ソフトウェア工学研究会

日 程 平成6年7月7日(木)・8日(金)

会 場 奈良先端科学技術大学院大学 高山サイエンスプラザ

発表申込締切 平成6年4月20日(水)

問合せ先 青山幹雄(富士通) Tel.(044)754-4111 Fax.(044)754-4223 e-mail:mikio@exs.ts.fujitsu.co.jp

◆情報システム研究会

日 程 平成6年7月19日(火)

会 場 工学院大学(予定)

議 題 特集: ISにたずさわる人材の発掘、育成

学術的な考察のみならず、企業・教育現場での取り組み、考え方、事例、経験、問題点など広い視点からの発表を歓迎します。

発表申込締切 平成6年4月11日(月)

申込み先 松谷泰行(多摩大・経営情報学部) 〒206 東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1

Tel.(0423)37-7172 Fax.(0423)37-7103

## ◆データベースシステム研究会

## 100万ドルDBワークショップ

— DBか、100万ドルの夜景か、函館で語ろう新しいデータベース—  
論文募集

恒例になりましたDBワークショップ(電子情報通信学会(データ工学研究会)共催)を本年は函館で開催します。函館山から見る100万ドルの夜景、五稜郭、トラビスト、新鮮な海の幸、そして函館は戊辰戦争最後の戦場でもありました。そんな函館は新しいものを産み出す産みの苦しみを知っている街かもしれません。今データベースは変革の真只中こいます。マルチメディア、ダウンサイジング、知識発見、オブジェクト指向、スケーラビリティ、データベース活用どれをとっても依然火急の課題ばかりです。恒例となったグループ討論も行い本音でデータベースを語りたい、それがこの研究会の狙いです。

日 程 平成6年7月20日(水)午前~22日(金)午後

会 場 金森ホール(函館市)

発表申込方法 下記Ⅰ~Ⅲの発表方法を明記のうえ、研究会発表申込書の様式で下記の申込先へお申込みください。

Ⅰ. 一般発表(原稿頁数:8頁,発表時間:40分程度(含質疑応答))

Ⅱ. short presentation(原稿頁数:4または6頁,発表時間:20分程度(含質疑応答))

Ⅲ. ビデオセッション(原稿頁数:2頁,発表時間:30分程度(含ビデオ上映時間:15分程度))

発表申込先 石川 博(富士通研・情報網システム研究部) Tel.(044)754-2681 Fax.(044)754-2570

e-mail:hiro@flab.fujitsu.co.jp

大時和仁(電総研・情報ベース研究室)

Tel.(0298)58-5885 Fax.(0298)52-0865

e-mail:ohmaki@etl.go.jp

発表申込締切 平成6年5月10日(火) (\*電子情報通信学会の締切日は5月23日(月)です。)

宿泊等申込先 富士 隆(学習情報通信システム研究所) Tel.(011)382-1155(代) Fax.(011)382-7788

e-mail:fuji@srl.co.jp

\*ビジネスホテル(シングル1泊6千円程度)を6月20日まで押さえてあります。なお空路運賃割引が申込み状況によっては可能ですので併せてお問合せください。

## ▶人工知能研究会

## ▶計算機アーキテクチャ研究会

## ▶システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会

## ▶ハイパフォーマンスコンピューティング研究会

## ▶プログラミング—言語・基礎・実践—研究会

## 1994年並列/分散/協調処理に関する『琉球』サマー・ワークショップ(SWoPP 琉球'94)

## 発表論文募集

上記5研究会は、「1994年並列/分散/協調処理に関する『琉球』サマー・ワークショップ(SWoPP 琉球'94)」と題し、並列/分散/協調処理を横断的なキーワードとして、研究会を同時・連続開催いたします。各研究会の日程、特集、担当幹事、発表申込先は下記のとおりです。発表をご希望の方は、下記の方法にてお申込みください。多数の方々のご参加をお待ちしています。

日 程 平成6年7月21日(木)

人工知能研究会(AI)

21日(木)・22日(金)

計算機アーキテクチャ研究会(ARC)

プログラミング—言語・基礎・実践—研究会(PRG)

22日(金)・23日(土)

システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会(OS)

ハイパフォーマンスコンピューティング研究会(HPC)

会 場 ホテル西武オリオン(沖縄県那覇市) Tel.(098)866-5533

研究会特集、担当幹事および発表申込先

## ● AI: 知能における並列/分散/協調のあり方

担当・発表申込先: 加藤 浩(NEC)

Tel.(044)856-2317 Fax.(044)856-2239

e-mail:swopp94-ai@etl.go.jp

\*一般発表の他に、ポジションペーパー(2頁,15分程度)も受け付けています。発表申込みの際、一般発表かポジションペーパーかを明記してください。

\*電子情報通信学会(人工知能と知識処理研究会)と共催(予定)

- **ARC** : 並列/分散/協調アーキテクチャ  
担当・発表申込先: 関口智嗣 (電総研) Tel. (0298)58-5877 Fax. (0298)58-5882  
e-mail:swopp94-arc@etl.go.jp
- **OS** : 並列/分散/協調システムソフトウェア  
担当・発表申込先: 福田 晃 (奈良先端大) Tel. (07437)2-5320 Fax. (07437)2-5202  
e-mail:swopp94-os@etl.go.jp
- **HPC** : 並列分散コンピューティングのテクノロジー&サイエンス  
担当・発表申込先: 佐藤三久 (電総研) Tel. (0298)58-5135 Fax. (0298)58-5882  
e-mail:swopp94-hpc@etl.go.jp
- **PRG** : 並列/分散/協調プログラミング処理系の実践と基礎  
担当・発表申込先: 松岡 聡 (東大) Tel. (03)3812-2111 (ext.7431) Fax. (03)5800-6913  
e-mail:swopp94-prg@etl.go.jp

**発表申込方法** 研究会発表申込書の様式で、発表題目、発表者名、略称所属、概要(50字程度)、発表申込者連絡先(住所、氏名、Tel., Fax., e-mail)をご記入のうえ上記の発表希望研究会担当幹事宛、電子メールまたはFax.で直接お申し込みください。なお、できるだけ電子メールでお願いいたします。

申込受付開始 平成6年4月18日(月)より

発表件数枠 AI:15件, ARC:18件, OS:14件, HPC:19件, PRG:18件

\*申込は原則として先着順で、各研究会の枠が一杯になった時点で締切らせていただきますので予めご承知おきください。

詳しくは下記のメイリングリストにてのご案内いたします。また、同メイリングリストに登録されている皆様には、電子メールでの発表申込書式を送らせていただきます。

**ワークショップ全体に関する問合せ先(参加方法等)**

朴 泰祐(筑波大) Tel. (0298)53-5518 Fax. (0298)53-5206

e-mail:swopp94-secretary@etl.go.jp

\*適宜案内を行う下記のメイリングリストへなるべくご登録ください。

(swopp-request@etl.go.jp まで add taisuke@is.tsukuba.ac.jp のようにメールの本体に add に続けてご自分のメールアドレスを記入して送付してください。または、helpとだけ書いたメールを送ってください。)

\*swopp-request の利用方法、その他お問合せはできるだけ電子メールでお願いします。

\*電子情報通信学会協賛(予定)

\*SWoPP 琉球'94の一環として、電子情報通信学会(コンピュータシステム研究会(22,23日),WSI技術とその応用システム研究会(22日),フォールトトレラントシステム研究会(23日))を同一会場にて本学会の協賛(予定)で開催いたします。なお、発表申込等詳細につきましては電子情報通信学会誌3月号をご覧ください。

\*上記以外の研究会への発表申込希望者は開催日の3カ月前までに研究会発表申込書(2月号本欄未添付)を事務局研究会担当までご送付ください。

## 平成6年度研究会への登録はお済みですか?

平成6年度は「音声言語情報処理」という新分野の研究会を加え24研究会でスタートいたします。

年間開催回数121回、発表件数は1,155件とますます活発に研究活動が進められ、研究会主催のシンポジウム等も20件、小規模国際会議2件を予定しております。年間を通して研究会にご参加の場合には、登録をお勧めいたします。登録者には、該当研究報告が無料配布され、研究会主催行事等での割引対象となることもあります。

会員の皆様より多くの登録をお待ちいたしております。

(研究会のお知らせ等詳細につきましては前号(Vol.35 No.2)をご覧ください。)

## 「マルチメディア情報システムの産業応用」研究グループ終了にあたって

(主査：沢 恒雄, 幹事：池田 宏, 政井 寛, 南 俊守)

平成4年11月から1年間、情報産業のブームの1つであるマルチメディア技術を情報システムの産業応用という視点から産業人を中心に研究を行った。

研究グループ発足の趣旨は次の通りであった。すなわち情報処理の先進的な技術が任意業種の営業戦略に引きずられて実用的な定着が出来ないだけでなくR&D領域でもさしたる成果の上がないままブームだけで終始してしまうという特異現象が見られる。この事は、健全な技術進歩の妨げとなるだけでなく情報化社会のインフラ整備にも片寄りのある投資を招き社会的にも悪影響を与える。そこでマルチメディア技術の産業応用という限定した範囲で討議することが研究グループの趣旨であった。

科学技術の研究成果は、それを使う使用者の苦痛を和らげ作業負荷を軽減するものでなければならない。この精神で研究グループのメンバーはそれぞれの立場からマルチメディア情報システムが今後の社会においてどのような効用があるかを討議した。10回の研究討論会、見学会と合同研究会を各1回実施した。最終の報告会を10月28日に実施した。

研究の過程でグループは以下に記述する共通認識を得られた。

[マルチメディア情報システムの産業応用とは人と人、人とシステム、またはシステムを介した人間相互の対話において対話の対象となっている内容を意図をもって相手まで「正確、適格、迅速」に伝えることが課せられた目的である。] この共通認識をもとに研究をすすめた結果は『研究報告書』として別にまとめ、提出してあるのでご参照願いたい。

研究グループを終了するにあたって情報産業がさらに健全な実業としての地位を得るためにはマルチメディア技術の実用化まで次のような愚直な積み上げを必要とすることを提言したい。

- (1) 人類がかつて経験した事のない知識社会に向けてマルチメディア技術関連領域の人材の発掘と育成
- (2) マルチメディア情報システムを含む利用者相互間でのコミュニケーションの形態と方法の開発
- (3) さらにそのような社会での個々人や組織にとっての社会的、学際的な研究

すなわち、マルチメディア情報システムは、閉塞状態にある20世紀のあり方から脱して、高度情報化社会、知識社会において、個々人の生きがいモデルの創造、新経営方式のもとでの組織の概念構築、グローバリゼーション社会において異文化交流に役立つということなどに広く使われなければならない。

## ソフトウェア工学研究会小規模国際会議論文募集

The First Asia-Pacific Software Engineering Conference (APSEC)

表記小規模国際会議では、Full Paper, Panel Proposalの募集を行っております。技術論文だけでなく、実際的な経験論文も歓迎します。応募論文の形式等、詳細は12月号(Vol.34, No.12)本欄をご参照ください。

日 程 平成6年12月7日(水)～9日(金)

会 場 早稲田大学(東京)

発表申込締切 平成6年4月30日(土)(締切厳守)

募 先 佐伯元司 〒152 東京都目黒区大岡山 2-12-1 東京工業大学 工学部 電気電子工学

Tel. (03)3726-1111 (ext. 2192) Fax. (03)3729-1399 e-mail: saeki@cs.titech.ac.jp





## 情報処理学会「行事」申込書

|         |  |
|---------|--|
| コード No. |  |
|---------|--|

(コード No.は開催のお知らせに記載してあります)

会  
告

票記行事の参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○で囲み、金額を記入してください)

|      |   |    |   |    |   |     |   |
|------|---|----|---|----|---|-----|---|
| 登録会員 | 円 | 会員 | 円 | 学生 | 円 | 非会員 | 円 |
| 懇親会費 | 円 |    |   |    |   |     |   |

\*参加費には資料代が含まれています。

\*3日前までに連絡なき欠席の場合にも参加費を徴収させていただきます。

○資料のみ (円, 送料込) \_\_\_\_\_ 冊

○送金方法 (該当するものを○で囲む)

合計 \_\_\_\_\_ 円を

a) 当日、会場受付にて支払います。

b) 現金書留で

c) 銀行振込 (いずれも普通預金口座) で \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日送金します。

1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562

2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿1-24-1 社団法人 情報処理学会

送金人名義 \_\_\_\_\_ 様

\*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は 1枚 1人としてください。(コピーで申し込むこと)

○申込先 (Fax も可)・送金先

情報処理学会 事業係

〒 160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27F

Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

○アンケート (宿泊付の場合の部屋割りの参考にします)

(1) たばこ: すう すわない(2) 年 齢: 20代 30代 40代 50代以上

(3) その他ご要望があればお書きください。 \_\_\_\_\_

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者  
連絡先〒 \_\_\_\_\_機関・  
部課名 \_\_\_\_\_フリガナ  
氏 名 \_\_\_\_\_会員番号  
殿 ( \_\_\_\_\_ )

Tel. \_\_\_\_\_ (ext. \_\_\_\_\_) Fax. \_\_\_\_\_

コードNo. RS94

情報処理学会「連続セミナー 94」  
 ビジネス・プロセス・リエンジニアリングのための  
 最新情報テクノロジーの理論と実践

企業等において、ビジネス・プロセス・リエンジニアリング (BPR) が積極的に検討されていますが、この中で先端情報テクノロジーが要素技術として必要不可欠であり、これを取り入れた情報システムが極めて重要な役割を占めています。

本セミナーは、ビジネス・プロセス・リエンジニアリング (BPR) の核心である最新情報テクノロジーの理論および実践について、以下のとおり6回のテーマで実施します。多数の方々のご参加をお願いいたします。

|      |                                        |
|------|----------------------------------------|
| 日 時  | 第1回 平成6年5月12日 (木)                      |
|      | 第2回 平成6年7月14日 (木)                      |
|      | 第3回 平成6年9月16日 (金)                      |
|      | 第4回 平成6年11月17日 (木)                     |
|      | 第5回 平成7年1月19日 (木)                      |
|      | 第6回 平成7年3月 9日 (木)                      |
| 場 所  | 工学院大学 3階312教室 (東京都新宿区西新宿)              |
| 参加費  | 会員 80,000 円 非会員 100,000 円 学 生 12,000 円 |
| 定 員  | 250名 (学生は20名) になり次第締切ります。              |
| 申込締切 | 1994年4月25日 (月) 厳守                      |
| 資 料  | 講演の資料を当日配布いたします。                       |

## 〔第1回〕1994年 5月12日 (木)

## リエンジニアリングとライトサイジングのこれからの展開

- 企業の情報システムはどう姿を変えるか -

- ・セッション1 (10:00~11:15)  
 リエンジニアリングと情報システム 水越 豊 (ポストンコンサルティング)
- ・セッション2 (11:30~12:45)  
 ライトサイジングの構築技術 拝原 正人 (NTT)
- ・セッション3 (14:00~15:15)  
 クライアント/サーバ・コンピューティングの将来 西岡 郁夫 (インテルジャパン)
- ・パネルディスカッション (15:30~17:30)  
 コーディネータ: 杉山 元伸 (NTT データ通信)  
 パネリスト: 内永ゆか子 (日本IBM), 孫 正義 (ソフトバンク),  
 成毛 真 (マイクロソフト), 西岡 郁夫 (インテルジャパン),  
 拝原 正人 (NTT)

## 〔第2回〕1994年 7月14日 (木)

## 新しいオペレーティングシステム技術

- ・新しいオペレーティングシステムと技術動向
- ・Windows NT
- ・Solaris
- ・パネルディスカッション  
 「プラットフォームとしてのオペレーティングシステム」  
 コーディネータ: 砂原 秀樹 (電通大)

## 〔第3回〕1994年 9月16日 (金)

## 新しいユーザインタフェース技術の応用と課題

- ・マルチメディア
- ・GUI
- ・デザインツールとユーザビリティ
- ・パネルディスカッション  
 コーディネータ: 小川 克彦 (NTT)

〔第4回〕1994年11月17日（木）

### オブジェクト指向技術

- オブジェクト指向開発の方法
- オブジェクト指向開発の実際（管理的側面）
- オブジェクト指向開発の適用と事例
- パネルディスカッション  
コーディネーター：青山 幹雄（富士通）

〔第6回〕1995年 3月 9日（木）

### インターネットの新しい展開

- 内外のインターネットの現状
- インターネットの新しいサービス
- インターネットの新しい技術
- パネルディスカッション  
コーディネーター：石田 晴久（東大）

〔第5回〕1995年 1月19日（木）

### 新世代データベースシステム技術の展望

- オブジェクト指向データベースシステム技術の展望
- マルチメディアデータベースシステム技術の展望
- ダウンサイジングにおけるデータベースシステム技術
- パネルディスカッション  
コーディネーター：増永 良文（情報大）

講演者が決定次第ご案内いたします。

内容が多少変更される場合がございます。ご了承ください。

## 「ソフトウェアプロセス・シンポジウム」開催について

標記シンポジウムに関して多数の論文をご応募いただき誠にありがとうございました。審査の結果、下記の要領でシンポジウムを開催いたします。

本シンポジウムでは、ソフトウェアプロセスについての研究開発や国際標準化の動向のサーベイ、事例発表などをおして、現状をよりよく理解していただくために多数のチュートリアルを設けました。実務としてソフトウェア開発やその管理に携わっている方々にとって有益な情報が得られると思っています。多数の方々のご参加をお願いいたします。

なお、前日の5月25日(水)には、ソフトウェアプロセスの技術的な発表・討議を中心とした研究会を同じ場所で開催する予定です。こちらの方にもご参加ください。

日 時 平成6年5月26日(木)～27日(金)  
 場 所 工学院大学 3階 312教室(東京都新宿区西新宿)  
 主 催 情報処理学会 ソフトウェア工学研究会  
 協 賛 日本ソフトウェア科学会ソフトウェアプロセス研究会  
 電子情報通信学会知能ソフトウェア工学研究会  
 参 加 費 会員 17,000円(20,000円) 学生 3,000円(5,000円) 非会員 20,000円(23,000円)  
 ソフトウェア工学研究会登録会員 15,000円(18,000円)  
 ※括弧内は情報交換会の会費込みです。  
 ※協賛学会研究会登録会員の方は会員扱いとさせていただきます。  
 資料のみ 5,000円(送料込み)  
 申込締切 平成6年5月16日(月)(定員200名になり次第締め切らせていただきます)  
 申 込 先 (社)情報処理学会 シンポジウム係  
 〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル 27階  
 Tel.(03) 5322-3535 Fax.(03) 5322-3534

## - プ ロ グ ラ ム -

第1日 5月26日(木)

開会の挨拶(9:30～9:40)

磯田 定宏(NTT)

セッション1(9:40～10:40): ソフトウェアプロセスの開発環境への応用

座長 佐伯 元司(東工大)

・ソフトウェアプロセスに基づくソフトウェア開発環境の検討

山本 里枝子, 近藤 竜生, 吉田 裕之(富士通研)

・プロセスプログラムによる環境の記述

杉山 安洋(日大)

招待講演(10:40～11:40)

司会 佐伯 元司(東工大)

・ソフトウェアプロセスモデルに関する研究の概要

落水 浩一郎(北陸先端大)

- 昼食(11:40～13:00) -

チュートリアル(13:00～14:00)

司会 坪谷 英昭(NEC)

・ソフトウェアプロセスの適用

望月 純夫(三菱スペース・ソフトウェア)

セッション2(14:00～15:00): 開発環境とプロセスガイド

座長 坪谷 英昭(NEC)

・ソフトウェア工程管理システムと開発環境の統合の一つの試み

樋山 淳雄, 古宮 誠一(IPA)

・ソフトウェア開発プロセスの再構築(二重反復拡大型プロセスモデルに基づくCSS開発標準手順)

石田 厚子, 影井 宏司(日立), 豊田 健治(日立ソフトウェアエンジニアリング)

- 休憩(15:00～15:15) -

チュートリアル(15:15～16:15)

司会 三ツ井 欽一(日本IBM)

・ソフトウェアプロセスの標準化

村上 憲稔(富士通)

セッション3(16:15～17:45): ソフトウェアプロセスの開発環境への統合

座長 三ツ井 欽一(日本IBM)

・ソフトウェアプロセスの載るCASE環境へ向けて

鯨坂 恒夫(京大)

・ISO9000-3によるプロセス計画管理機構CooPsの評価

元治 景朝, 盛田 政敏(さくらケーシーエス), 荻原 剛(奈良先端大), 井上 克郎(阪大)

電子メール基盤「め組」を利用したソフトウェアプロセス管理 —究仙—

金政 ふじ, 松本 英之, 垂水 浩幸, 田淵 篤 (NEC)

情報交換会 (18:00~20:00)

第2日目 5月27日 (金)

チュートリアル (9:30~10:30)

ソフトウェアプロセス・リエンジニアリング

招待講演 (10:30~11:45)

品質保証の枠組ISO9000-3とソフトウェアプロセス

—昼食 (11:45~13:00) —

チュートリアル (13:00~14:00)

プロセス成熟度モデルCMM

セッション4(14:00~15:30): 管理プロセスの理論と実践

プロセス記述・実行システムを用いたCMMとISO9000-3の比較の試み

飯田 元, 三村 圭一, 渡辺 敦志, 井上 克郎 (阪大), 鳥居 宏次 (奈良先端大/阪大)

ISO9000-3の取得と運用

司会 古宮 誠一 (IPA)

ISO9000-3に従ったソフトウェア品質システムの導入

座長 古宮 誠一 (IPA)

—休憩 (15:30~15:45) —

パネル (15:45~17:45)

コーディネータ 玉井 哲雄 (筑波大)

朝会の挨拶 (17:45~17:50)

望月 純夫 (三菱スペース・ソフトウェア)

第1日目のセッションの終了後、情報交換会を予定しています。ふるってご参加ください。

会  
告

CALL FOR PARTICIPATION  
 1994年 並列処理シンポジウム  
*Joint Symposium on Parallel Processing 1994*  
**JSPP'94 参加者募集**  
 工業技術院・筑波研究センター共用講堂  
 1994年5月18日(水)～20日(金)

21世紀に向けた超並列処理について、研究発表および議論することを目的とした並列処理シンポジウム JSPP も、今回6回目を迎えることとなります。本シンポジウムは、単に並列処理に留まらず、分散、協調などの新しいテーマまで含んだ学際的な研究交流の場の一つとして、確立されてきております。今回も、並列処理に関する最先端の研究発表48件に加え、海外からの招待講演2件と幾つかの分野毎の小パネル討論を予定し、白熱した議論が行なわれることを期待しております。多数の方々の御参加をお待ちしております。

- **主催** 情報処理学会・計算機アーキテクチャ研究会、同・ハイパフォーマンスコンピューティング研究会  
 同・システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会、同・データベース研究会  
 同・プログラミング—言語・基礎・実践—研究会、同・アルゴリズム研究会  
 電子情報通信学会・コンピュータシステム研究会  
 人工知能学会・並列人工知能研究会
- **協賛** 日本ソフトウェア科学会
- **後援** 電子技術総合研究所
- **参加申込方法** 下記の参加申込書によってお申し込み下さい。
- **参加申込先(問合せ先)** (社)情報処理学会 シンポジウム(JSPP'94)係  
 〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27F TEL:(03)5322-3535 FAX:(03)5322-3534

1994年並列処理シンポジウム JSPP'94 参加申込書

標記シンポジウムの参加を下記の通り申し込みます(該当のものを○で囲む)。 1994年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

| ○ 参加費   | 主催研究会会員   | 主催/協賛学会員  | 非会員       | 学生        |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 4月17日まで | ● 18,000円 | ● 20,000円 | ● 25,000円 | ● 10,000円 |
| 4月18日以降 | ● 23,000円 | ● 25,000円 | ● 30,000円 | ● 12,000円 |

\* 研究会会員/学会員の方は、下記氏名欄の後に研究会/学会名をご記入下さい。  
 \* 参加費には論文集代と懇親会費が含まれています。また、上記の日付は入金日を基準とします。

- **論文集のみ**(送料込み5,000円) \_\_\_\_\_ 冊
- **送金方法** \_\_\_\_\_ 円を
  - a) 当日、会場受付にて支払います。
  - b) 下記の方法にて \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日に送金します。
    - 現金書留(送付先: 情報処理学会シンポジウム(JSPP'94)係)
    - 銀行振込: 第一勧業銀行新宿西口支店(普)2049562 三菱銀行虎ノ門公務部(普)0000608  
 名義人 東京都新宿区西新宿1-24-1 社団法人 情報処理学会
    - \* 送金先銀行 : \_\_\_\_\_ 銀行宛
    - \* 送金取扱銀行: \_\_\_\_\_ 銀行 \_\_\_\_\_ 支店より
    - \* 送金人名義 : \_\_\_\_\_ 様

\* 請求書類の必要な方はお申し出下さい。  
 請求書 \_\_\_\_ 通、見積書 \_\_\_\_ 通、納品書 \_\_\_\_ 通、請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は1枚1人として下さい(コピー可)。

申込者連絡先 〒 \_\_\_\_\_

機関・部課名 \_\_\_\_\_

フリガナ \_\_\_\_\_ 研究会/学会名 \_\_\_\_\_  
 氏名 \_\_\_\_\_ 殿 ( \_\_\_\_\_ )

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_ E-mail \_\_\_\_\_

# JSPP'94 セッション構成

|             |                    | A 会場                                                                                                                                                                                                       | B 会場                               | C 会場     |
|-------------|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|----------|
| 5/18<br>(水) | 12:30~12:40        | 開会の辞・実行委員長挨拶                                                                                                                                                                                               |                                    |          |
|             | 12:40~14:00        | 招待講演(1)<br><i>The Convergence of Parallel and Distributed Computing: What it means for High Performance Architecture, Operating Systems and Languages</i><br>Greg Papadopoulos (MIT/Thinking Machines Co.) |                                    |          |
|             | 14:00~14:30        | コーヒーブレイク                                                                                                                                                                                                   |                                    |          |
|             | 14:30~16:00        | 命令レベル並列処理                                                                                                                                                                                                  | 細粒度言語実装                            | 並列アルゴリズム |
|             | 16:00~16:30        | コーヒーブレイク                                                                                                                                                                                                   |                                    |          |
|             | 16:30~18:00        | システム<br>アーキテクチャ                                                                                                                                                                                            | 並列オブジェクト<br>実装                     |          |
|             | 18:30~20:30        | 懇親会                                                                                                                                                                                                        |                                    |          |
| 5/19<br>(木) | 10:00~11:30        | 相互結合網 (1)                                                                                                                                                                                                  | データ分割と局所化                          | 計算アルゴリズム |
|             | 11:30~12:50        | 昼食                                                                                                                                                                                                         |                                    |          |
|             | 12:50~14:20        | 招待講演(2)<br><i>Ab Initio Solid State Physics and Chemistry on Parallel Computers: Fascination and Importance</i><br>Ivan Stich (Angstrom Technology Partnership)                                            |                                    |          |
|             | 14:20~14:40        | コーヒーブレイク                                                                                                                                                                                                   |                                    |          |
|             | 14:40~16:10        | 相互結合網 (2)                                                                                                                                                                                                  | 小パネル(1):<br>「並行」と「並列」              |          |
|             | 16:10~16:40        | コーヒーブレイク                                                                                                                                                                                                   |                                    |          |
| 16:40~18:10 | 分散共有メモリ<br>アーキテクチャ | デバッガ・その他                                                                                                                                                                                                   | 負荷分散方式と評価                          |          |
| 5/20<br>(金) | 10:00~11:30        | キャッシュ<br>コヒーレンスと同期                                                                                                                                                                                         | 分散共有メモリ<br>ソフトウェア                  | 探索アルゴリズム |
|             | 11:30~12:50        | 昼食                                                                                                                                                                                                         |                                    |          |
|             | 12:50~14:20        | 小パネル(2):<br>超並列計算機用<br>プロセッサアーキテクチャ                                                                                                                                                                        | 並列オペレーティング<br>システム                 |          |
|             | 14:20~14:50        | コーヒーブレイク                                                                                                                                                                                                   |                                    |          |
|             | 14:50~17:10        | パネル討論(1):<br>並列処理の教育<br>(含並列処理コンテスト<br>入選発表)                                                                                                                                                               | パネル討論(2):<br>誰が並列計算モデルを<br>構築するのか? |          |
| 17:10~17:20 | 閉会の辞・プログラム委員長挨拶    |                                                                                                                                                                                                            |                                    |          |

## JSPP'94 プログラム

第 1 日 5 月 18 日 (水)

- ◇ 開会の辞・実行委員長挨拶 (12:30~12:40, A 会場) ..... 小柳 義夫
- ◇ 招待講演 (1)(12:40~14:00, A 会場) ..... 座長: 雨宮 真人 (九大)
- The Convergence of Parallel and Distributed Computing: What it means for High Performance Architecture, Operating Systems and Languages. Greg Papadopoulos (MIT/Thinking Machines Co.)
- ◇ 命令レベル並列処理 (14:30~16:00, A 会場) ..... 座長: 柴山 潔 (京都工繊大)
- 命令レベル並列アーキテクチャのための大域的コードスケジューリング技法とその評価  
古閑 聰 (早大), 小松 秀昭 (日本 IBM), 深澤 良彰 (早大)
  - ハイパースカラ・プロセッサ・アーキテクチャ — プロトタイプ的设计および性能評価 —  
弘中 哲夫, 齋藤 靖彦, 宮嶋 浩志, 村上 和彰 (九大)
  - ループに条件分岐を含む場合の最適なソフトウェア・パイプラインニング  
山下 義行, 中田 育男 (筑波大)
- ◇ 細粒度言語実装 (14:30~16:00, B 会場) ..... 座長: 中島 浩 (京大)
- Scheduling Fine-Grain Threads with Single Stack on Stock CPUs  
田浦 健次朗, 松岡 聡, 米澤 明憲 (東大)
  - 超並列計算機上の高効率な大域的ガベージコレクション  
鎌田 十三郎, 松岡 聡, 米澤 明憲 (東大)
  - 超並列 V 言語とその実行方式  
日下部 茂, 高橋 英一, 谷口 倫一郎, 雨宮 真人 (九大)
- ◇ 並列アルゴリズム (14:30~16:00, C 会場) ..... 座長: 今井 浩 (東大)
- Disjoint Paths in Hypercubes and Star Graphs  
Shietung Peng, Qian Ping Gu, Satoshi Okawa (The Univ. of Aizu)
  - Dynamic Tree Embeddings in d-Way Shuffles and Star Graphs  
David S. L. Wei (The Univ. of Aizu)
  - A Routing Algorithm in a Faulty n-Rotator Graph  
Peter Yamakawa, Hiroyuki Ebara, Hideo Nakano (Osaka Univ.)
- ◇ システムアーキテクチャ (16:30~18:00, A 会場) ..... 座長: 島田 俊夫 (名大)
- 汎用細粒度並列計算機: お茶の水 1 号 — 構成と性能評価 —  
戸塚 米太郎, 大津 金光, 中里 学, 秋葉 智弘, 松本 尚, 平木 敬 (東大)
  - 細粒度スレッド処理のためのコンテキストスイッチ機構 — 並列計算機 Datarol-II の階層メモリシステム —  
川野 哲生, 日下部 茂, 谷口 倫一郎, 雨宮 真人 (九大)
  - ポリュームレンダリング専用並列計算機のアーキテクチャ  
對馬 雄次, 金 喜都, 薄田 昌広, 黒田 知宏, 森 眞一郎, 中島 浩, 富田 眞治 (京大)
- ◇ 並列オブジェクト実装 (16:30~18:00, B 会場) ..... 座長: 松岡 聡 (東大)
- 並列オブジェクト指向言語 mosaic とマルチワークステーション上の実装  
小倉 毅, 瀧 和男 (神戸大)
  - 並列プログラミング言語 MPC++ の実現  
石川 裕, 堀 敦史, 小中 裕喜, 前田 宗則, 友清 孝志 (RWC)
  - 超並列オブジェクトベース言語 OCore の商用並列計算機上での実装  
小中 裕喜, 石川 裕, 友清 孝志, 前田 宗則, 堀 敦史 (RWC)
- ◇ 懇親会 (18:30~20:30, ホテルグランド東雲内会場) .....



## 第 2 日 5 月 19 日 (木)

- ◇ 相互結合網 (1)(10:00~11:30, A 会場) ..... 座長: 天野 英晴 (慶大)
- 超並列向け相互結合網 MDCE の提案と評価  
横田 隆史, 松岡 浩司, 岡本 一晃,  
廣野 英雄, 坂井 修一 (RWC)
  - ハイバクロスバ・ネットワークにおける転送性能向上のための手法とその評価  
朴 泰祐, 曾根 猛, 三島 健, 板倉 憲一, 中澤 喜三郎, 中村 宏 (筑波大)
  - プログラム最適化技法適用下における並列計算機結合形状の性能評価  
武本 充治, 松本 尚, 平木 敬 (東大)
- ◇ データ分割と局所化 (12:50~14:20, B 会場) ..... 座長: 佐藤 三久 (電総研)
- マルチグレイン並列処理におけるデータローカライゼーション手法  
吉田 明正, 前田 誠司, 尾形 航, 笠原 博徳 (早大)
  - VPP Fortran: 分散メモリ型並列計算機言語  
岩下 英俊, 進藤 達也 (富士通研), 岡田 信 (富士通)
  - Twisted Data Layout  
進藤 達也, 岩下 英俊, 土肥 実久, 萩原 純一 (富士通研)
- ◇ 計算アルゴリズム (10:00~11:30, C 会場) ..... 座長: 田中 輝雄 (日立)
- 超並列計算機における弱い同期による偏微分方程式の計算アルゴリズム  
佐藤 隆士 (大阪教育大)
  - 直方体の角の 8 個の格子点を使う変形差分近似の理論と応用  
藤野 清次, 竹内 敏己 (花王)
  - LINPACK ベンチマークの並列ベクトル処理 — 並列計算機 AP1000 用数値演算アクセラレータによる実現 —  
上村 和人 (富士通研)
- ◇ 招待講演 (2)(12:50~14:20, A 会場) ..... 座長: 小柳 義夫 (東大)
- Ab Initio Solid State Physics and Chemistry on Parallel Computers: Fascination and Importance  
Ivan Stich (Angstrom Technology Partnership)
- ◇ 相互結合網 (2)(14:40~16:10, A 会場) ..... 座長: 朴 泰祐 (筑波大)
- SSS-MIN に基づくマルチプロセッサ SNAIL の実装と評価  
笹原 正司, 寺田 純, 大和 純一, 埜敏 博, 天野 英晴 (慶大)
  - 多重出力可能な MIN の性能評価  
埜 敏博, 天野 英晴 (慶大)
  - 優先度先送り方式による実時間相互結合網用ルータチップの実現と性能  
戸田 賢二, 西田 健次, 高橋 栄一 (電総研), Nick Michell (The Univ. of Utah), 山口 喜教 (電総研)
- ◇ 小パネル (1)(14:40~16:10, B 会場) ..... 座長: 上田 和紀 (早大)
- 「並行」と「並列」: モデルと実践の結びつきを目指して  
パネリスト (未定)
- ◇ 分散共有メモリ アーキテクチャ (16:40~18:10, A 会場) ..... 座長: 平木 敬 (東大)
- 並列計算機 EM-4 上での共有メモリベンチマークの実行 — リモートメモリアクセスとマルチスレッド —  
佐藤 三久, 児玉 祐悦 (電総研), 坂井 修一 (RWC), 山口 喜教 (電総研)
  - 高並列計算機 EM-X のリモートメモリ参照機構の評価  
児玉 祐悦, 坂根 広史, 佐藤 三久 (電総研), 坂井 修一 (RWC), 山口 喜教 (電総研)
  - PUT/GET インターフェースのハードウェアサポートによる並列プログラムの効率の実行  
林 憲一, 石畑 宏明, 堀江 健志, 清水 俊幸, 小柳 洋一, 今村 信貴, 白木 長武 (富士通研)
- ◇ デバッグ・その他 (16:40~18:10, B 会場) ..... 座長: 市吉 伸行 (三菱総研)
- 適応的再演型ロック命令を用いた並列プログラムデバッグの実現  
三栄 武, 高橋 直久 (NTT)
  - 並列論理型言語 Fleng のパフォーマンス・デバッグ  
館村 純一, 小池 汎平, 田中英彦 (東大)
  - 並列計算機 EM-4 における多段先行評価の分散制御方式  
山名 早人, 佐藤 三久, 児玉 祐悦, 坂根 広史 (電総研), 坂井 修一 (RWC), 山口 喜教 (電総研)
- ◇ 負荷分散方式と評価 (16:40~18:10, C 会場) ..... 座長: 安浦 寛人 (九大)
- Data Parallelization of Particle-In-Cell Code  
D. Cai, N. Asai, Y. Miyazaki (筑波大), T. Itoh (神戸大)
  - 並列 LSI ルーター PROTON2 — 並列マシン Cenju2 上での評価 —  
山内 宗, 石塚 昭夫, 中田 登志之, 高見 沢一彦, 小池 誠彦 (NEC)
  - LSI 配線プログラムを用いた並列推論マシン PIM/c の負荷分散方式の評価  
朝家 真知子, 中川 貴之, 垂井 俊明, 井門 徳安, 杉江 衛 (日立)

## 第3日 5月20日(金)

- ◇ キャッシュ コヒーレンスと同期 (10:00～11:30, A 会場) ..... 座長: 村上 和彰 (九大)
- アップデート型コヒーレンス制御の評価 細見 岳生, 森 眞一郎, 中島 浩, 富田 眞治 (京大)
  - SBM 同期機構を用いた新たな同期方式 (One-PE 同期方式) の提案 早川 潔, 増村 均, 清弘 智昭, 本多 弘樹 (山梨大)
  - Performance Analysis of a Data Diffusion Machine with High Fanout and Split Directories Hitoshi Oi, Henk L. Muller, Paul W.A. Stallard, Jorge Buenabad, David H.D. Warren (Univ. of Bristol)
- ◇ 分散共有メモリ ソフトウェア (10:00～11:30, B 会場) ..... 座長: 岸本 光弘 (富士通研)
- ソフトウェア DSM におけるコヒーレント・キャッシュシステムの実装と評価 藏前 健治, 中條 拓伯, 前川 禎男 (神戸大)
  - 分散共有メモリモデルに基づく HPC 環境の高性能実装と性能評価 大西 淑雅, 了戒 清, 末吉 敏則 (九州工大)
  - メモリ管理と協調動作する 2 レベルスケジューリング 甲斐 久淳, 藤木 亮介 (九大), 福田 晃 (奈良先端大)
- ◇ 探索アルゴリズム (10:00～11:30, C 会場) ..... 座長: 瀧 和男 (神戸大)
- 並列制約論理型言語 PARCS の最適化問題・組合せ問題への応用 長塚 雅明, 今野 和浩, 小林 直樹, 松岡 聡, 米澤 明憲 (東大)
  - 高並列計算機上での最尤法による分子系統樹の作成 松田秀雄, 金田悠紀夫 (神戸大)
  - 超並列計算機を用いた全文検索法の検討 佐藤 理史, 河瀬 剛 (北陸先端大)
- ◇ 小パネル (2) (12:50～14:20, A 会場) ..... 座長: 小柳 滋 (東芝)
- 超並列計算機用プロセッサアーキテクチャ  
パネリスト (候補), 岡本 一晃 (RWC), 松本 尚 (東大), 中村 宏 (筑波大), 村上 和彰 (九大)
- ◇ 並列 オペレーティングシステム (12:50～14:20, C 会場) ..... 座長: 福田 晃 (奈良先端大)
- 分散共有記憶型超並列オペレーティングシステム COS マイクロカーネルの保護機構 猪原 茂和, 松岡 聡, 松本 尚 (東大)
  - 協調的オペレーティングシステム COS の開発環境 村山 正之, 斎藤 信男 (慶大)
  - 大域的仮想仮想記憶 (GVVM) のマルチプロセス環境での評価 平野 聡, 田沼 均, 須崎 有康, 一杉 裕志 (電総研)
- ◇ パネル討論 (1) (14:50～17:10, A 会場) ..... 座長: 村岡 洋一 (早大)
- 並列処理の教育 (含並列処理コンテスト入選発表)  
パネリスト (順不同), 小柳 義夫 (東大), 近山 隆 (ICOT), 長嶋 雲平 (お茶の水女子大), 柴山 潔 (京都工繊大)
- ◇ パネル討論 (2) (14:50～17:10, B 会場) ..... 座長: 安浦 寛人 (九大)
- 「誰が並列計算モデルを構築するのか? — アーキテクトか, プログラマか, 理論家か —」  
パネリスト (順不同), 五十嵐 善英 (群馬大), 阿曾 弘具 (東北大), 坂井 修一 (RWC), 米澤 明憲 (東大)
- ◇ 閉会の辞・プログラム委員長挨拶 (17:10～17:20, A 会場) ..... 雨宮 真人

## ◆ JSPP '94の宿泊について

大会期間中の宿泊 (18日夜～20日朝) は, 下記のホテルについてはある程度の部屋を確保してあります。

| ホテル名       | 宿泊料金                        | 電話番号          |
|------------|-----------------------------|---------------|
| ホテルグランド東雲  | シングル 7,000円 (税, サービス, 朝食込)  | (0298)56-2211 |
|            | ツイン 14,000円 (税, サービス, 朝食込)  |               |
| ホテルニュー鷹    | シングル 6,500円 (サービス込, 税, 朝食別) | (0298)51-4788 |
|            | ツイン 11,000円 (サービス込, 税, 朝食別) |               |
| ホテルサンルート筑波 | シングル 7,364円 (税, サービス込, 朝食別) | (0298)52-1151 |
|            | ツイン 13,256円 (税, サービス込, 朝食別) |               |

宿泊ご希望の方は, 4月20日までに, 各ホテルに直接お申込みください。その際に, 必ず「JSPPでの宿泊である」旨を伝えてください。

また, その他にもたとえば次のようなホテルなどが利用可能です。ただし, 扱いは一般の宿泊の扱いとなりますのでご注意ください。

- 筑波第一ホテル Tel. (0298)52-1112
- ホテル諏訪 Tel. (0298)36-4011
- デイリーイン筑波学園 Tel. (0298)51-0003

## 「DA シンポジウム '94」論文募集

設計自動化 (DA) 技術は、コンピュータ、VLSI に代表される電子装置の進歩を支える重要技術のひとつとして、論理DA、レイアウトDA、テストDAといった各分野の要素技術開発を中心に進展を遂げ、多くの成果を生み出して来ました。しかし、近年の電子装置の大規模・高性能化の進展もまた急であり技術革新のニーズも大きく変容しつつあります。分野毎の要素技術における更なるブレークスルーが求められるとともに“トップダウン設計”や“タイミングドリブン設計”に代表される複数の要素技術にまたがる最適化設計技術やそのためのシステムインテグレーション技術へのニーズが高まっております。また、これらを支えるフレームワーク技術、設計記述言語、データフォーマットなども多大な関心を集め、国際的な標準化活動も活発になってきております。

本シンポジウムでは、こうしたDA技術の進展に役立つため、最新の技術発表と国際的な技術動向情報の交換を目的として発表と討論の場を提供するものです。

日 時 平成6年8月25日 (木) ~27日 (土)

場 所 西浦温泉 南風荘 (愛知県蒲郡市西浦町)

主 催 情報処理学会 設計自動化研究会

参 加 費 研究会登録会員 34,000円, 会員 39,000円, 学生 20,000円, 非会員 44,000円  
(予稿集費, 宿泊費, 懇親会費を含む)

### トピックス (予定)

- 論理合成 (組み合わせ回路合成/最適化, ハイレベル合成など)
- 自動レイアウト (フロアプランニング, タイミングドリブンレイアウトなど)
- テスト設計自動化 (テストパターン生成, テスト容易化設計など)
- 機能/論理/回路設計支援 (各種シミュレーション, 設計言語標準化など)
- CADフレームワーク (CADツール統合化, 設計工程管理など)
- 設計手法/設計システム (シリコンコンパイラ, 特定用途向けCADなど)
- ハード/ソフト協調設計

- 実施方法
- (1) 論文集を発行するため、発表申し込み、論文の投稿をお願いします。
  - (2) 応募は、アブストラクト (A4判用紙1枚程度、投稿論文の分野も記入) を平成6年4月15日までに提出ください。
  - (3) 採否の決定は、平成6年5月31日までに連絡します。
  - (4) 本論文は研究会発表形式で4ページまたは6ページとし、平成6年7月20日までに提出ください。

連絡先・論文提出先 (社) 情報処理学会 DA シンポジウム係  
〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル 27階  
Tel.(03) 5322-3535 Fax.(03) 5322-3534

## 「グラフィクスとCAD」シンポジウム論文募集 — CGの新しいパラダイムを求めて—

グラフィクスとCADの研究開発は近年ますます盛んとなり、基礎、応用、ハードウェアなどの分野で多くの興味深い話題を提供しております。当学会では過去11回、標記シンポジウムを開催し、多数の研究者、技術者の参加を得て大きな成果を得てまいりました。本年も下記のとおりシンポジウムを開催いたしますので、グラフィクスとCADの分野における最新の成果、新しい手法の提案、今後の展開、先端技術の追求など、活発な意見交換や議論を喚起する、興味深い論文の応募をお願いいたします。

### 記

- 開催日時** 平成6年9月21日(水)～22日(木)9時～18時
- 会場** 工学院大学新宿校舎312教室(東京都新宿区西新宿)
- 主催** 情報処理学会 グラフィクスとCAD研究会
- テーマ** 主要なテーマは以下の通りですが、必ずしもこれらに限りません。
- ・グラフィクスの基礎  
表示、レンダリング、グラフィクス入力、データ構造とデータベース、計算幾何学
  - ・グラフィクスシステム  
グラフィクス言語とソフトウェア、ディスプレイ、入力デバイス、ワークステーション、  
ヒューマンインタフェース、標準化
  - ・グラフィクスの応用  
アニメーション、アート、フラクタル、ビジネスグラフィクス、人工現実感、人物や自然物の表示、  
文書や画像の処理、サイエンティフィックビジュアルライゼーション、マルチメディア
  - ・CAD  
設計方法論、形状モデリング、ソリッドモデリング、図面の入力と処理、エンジニアリングデータ  
ベース、インテリジェントCAD、システム構成法
- 実施方法**
- (1) 完成された研究論文のみでなく、問題提起、新しい試み、提案などさまざまな性格のオリジナル論文を歓迎します。
  - (2) 論文内容がよく伝わるような論文概要をA4判用紙2枚以内(2000字程度で和文に限る)にまとめたものを、下記の期日までに提出してください。  
この用紙には、題名、氏名、所属、連絡先、分野を示すキーワードも併記してください。
  - (3) 応募された論文概要を基に、シンポジウム実行委員会で審査いたします。  
採択されたものについては、本論文(カメラレディ、本学会研究会様式で10ページ以内)を提出していただきます。カラーページも利用できますが、有償となります。
  - (4) 採択された論文は、研究賞の対象になります。
  - (5) スケジュール
    - ・論文概要提出締切 平成6年4月30日(土) 必着
    - ・論文審査結果通知 同6月中旬
    - ・カメラレディ原稿締切 同7月29日(金) 必着
- 参加費** グラフィクスとCAD研究会登録会員 12,000円 正会員 15,000円 非会員 25,000円 学生 5,000円
- 論文提出先**(問合せ先)
- (社)情報処理学会「グラフィクスとCAD」シンポジウム係  
〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27F  
Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

## 第7回学協会共通問題に関する討論会

テーマ：学協会は今後いかにあるべきか  
 -学術の国際化と教育・研究現場の変貌への対応-

### プログラム

|      |             |                                                            |                  |                     |
|------|-------------|------------------------------------------------------------|------------------|---------------------|
| 開会挨拶 | 13:00～13:10 |                                                            | 日本工学会会長          | 石川 六郎               |
| 第I部  | 13:10～14:30 | 国際化に対する大学の教育・研究環境改革への諸問題                                   |                  |                     |
|      |             |                                                            | 司会               | 日本工学会副会長 田中 郁三      |
|      | 13:10～13:30 | わが国における学術団体の現状                                             | 日本学術会議第4常置委員会委員長 | 市川 博信               |
|      | 13:30～13:50 | 大学の教育・研究環境をめぐる諸問題                                          | 日本学術会議第3常置委員会委員長 | 澤登 俊雄               |
|      | 13:50～14:10 | 国際学術交流と協力に関する諸問題および対策（仮題）                                  |                  |                     |
|      |             |                                                            | 日本学術会議第6常置委員会委員長 | 利谷 信義               |
|      | 14:10～14:30 | 学術法人への期待と行政施策の現状<br>-休憩（10分）-                              | 文部省学術国際局学術情報課長   | 長谷川 裕恭              |
| 第II部 | 14:40～16:10 | パネル討論会“変革期に直面する学協会の行方”                                     |                  |                     |
|      |             |                                                            | 司会               | 日本工学会理事・政策委員長 内田 盛也 |
|      |             | 次の学協会からパネラの推薦を依頼してあります。<br>電気学会・日本化学会・日本機械学会・日本鉄鋼協会・日本物理学会 |                  |                     |
| 閉会挨拶 | 16:10～16:20 |                                                            | 日本工学会副会長         | 三井 恒夫               |

- 参加費 1,000円（当日受付で頂戴いたします）  
 往復ハガキに氏名・勤務先・同住所・同電話番号を明記した上、返信はがき表に通信先住所・氏名を必ずご記入ください。
- 申込期日 平成6年4月8日（金）必着
- 申込先 〒107 東京都港区赤坂9-6-41（社）日本工学会「学協会共通問題討論会」係  
 Tel. (03) 3475-4621 Fax. (03) 3403-1738
- 参加証 返信はがきをすぐお送りいたしますので、当日ご持参ください。



## 社団法人日本工学会主催 第24回国際会議のための準備セミナー -英語によるプレゼンテーションの実際-

国際会議で発表する予定のある方、英語によるプレゼンテーション能力の向上を図りたい方に最適なセミナー

- 日時 平成6年5月28日（土）、29日（日）
- 会場 OVTA -幕張 海外職業訓練センター（千葉市美浜区ひび野1-1）
- 参加費 80,000円
- 泊費 18,000円
- 定員 18名
- 参加申込および問合せ先

〒107 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル  
 社団法人 日本工学会  
 Tel. (03) 3475-4621 Fax. (03) 3403-1738

## 1994年「工学教育」連合講演会

工学教育の問題は、全体的な政策に関わる問題から、個別分野の教育に至るまで、さまざまな角度から取り上げられ討議されている。

本連合講演会は、工学教育に関心が深い工学関係の主要学会が、それぞれの分野における経験、実績、問題点を持ち寄って討議し合い、その成果を工学の全分野に浸透させることによって、工学教育の一層の改善を図ろうとするものである。

開催日時 平成6年5月18日(水) 9:00~17:00

会場 工学院大学(東京都新宿区西新宿 Tel.(03)3342-1211)

## プログラム

## 1. 特別講演(12:30~14:20)

- ・日本の工学教育の在り方
- ・科学技術の将来と人材教育

岡村 総吾(電機大学長)  
寺脇 研(広島県教育長)

## 2. 講演

## セッションⅠ(9:00~11:30) 創造性を育むために—その企画と実践—

- ・実習・実感創造性教育の試み
- ・建築の設計(デザイン)教育について
- ・創造とその具体的プロセス

座長 小倉 克之 十代田知三  
広瀬 茂男(東工大)  
相田 武文(芝浦工大)

## セッションⅡ(9:00~11:30) 情報教育とコンピュータリテラシ

- ・情報教育の問題点
- ・コンピュータリテラシ教育
- ・情報システム教育と社会とのかかわり
- ・情報教育カリキュラムのコアとは
- ・情報教育の実例—アメリカの大学におけるCAD教育の実態—

座長 柴田 順二 曾和 将容  
曾和 将容(電通大)  
大岩 元(慶大)  
藤野 喜一(電通大)  
中森真理雄(農工大)

## セッションⅢ(14:30~17:00) 大学以前、大学、そして企業内教育の役割は今…

- ・進路を決める瞬間教育とは—好きの発見—
- ・専門能力と一般能力—人材育成の役割分担—
- ・企業内教育の経験から大学教育へ望みたいこと
- ・産業構造の変化と教育

Dr. J. Purcell(オートディスク米国本社)  
座長 山田 郁夫 井口 泰孝  
只野 文哉((社)科学技術と経済の会)

## セッションⅣ(14:30~17:00) 地球環境問題を工学教育にどう組み込むか

- ・土木工学教育の方向を探る—地球環境問題に視点を置いて—
- ・地球温暖化問題の特質と工学教育のジレンマ
- ・学際領域(Interdisciplinary Field)の研究と教育
- ・サブコースとしての地球環境工学

牛島 和夫(九大)  
富浦 梓(新日鉄)  
白木 万博(三菱重工)  
座長 伊藤 学 小出 耕造  
池田 駿介(東工大)  
三村 信男(茨城大)  
平岡 正勝(京大)  
小宮山 宏(東大)

## 参加要領

- ・定員200名(先着順、定員になり次第締め切ります)
- ・参加費(含、資料代・消費税) 会員 5,000円(共催学協会に所属の方) 非会員 7,000円
- ・申込方法 申込書を郵送またはFax.でご送付ください。

参加費は銀行振込または当日会場でお支払いください。(銀行振込は5月10日(火)までにお振込みください)

振込先 住友銀行上野支店 普通 844300 (社)日本工業教育協会

- ・申込先 (社)日本工業教育協会 〒110 東京都台東区台東4-26-8(御徒町台東ビル)  
Tel.(03)3832-9040 Fax.(03)3832-9049

## 共催

(社)化学工学会 (社)計測自動制御学会 (社)資源・素材学会 (社)情報処理学会  
(社)精密工学会 (社)繊維学会 (社)電気学会 (社)電子情報通信学会 (社)土木学会  
(社)日本化学会 (社)日本工業教育協会 (社)日本機械学会 (社)日本金属学会  
日本教育工学会 (社)日本経営工学会 (社)日本建築学会 (社)日本設計工学会 (社)日本鉄鋼協会

後援 文部省 日本経済新聞社  
多賛 (社)日本工学会 (社)日本工学アカデミー

平成6年 月 日

「工学教育」連合講演会参加申込書(楷書で記入してください)

氏名(フリガナ) 会員 非会員 (該当するものを○で囲む)

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

連絡先 〒 \_\_\_\_\_ Tel. ( ) - \_\_\_\_\_

所属名 \_\_\_\_\_

所属学会・協会 \_\_\_\_\_

払方法 振込 当日支払 (該当するものを○で囲む)

会  
告

## 新年度にあたって(お願い)

### －会費・購読費の請求、新入会員勧誘など－

新年度にあたって、会員の皆さまに会費等の納入のお願いとともに、つぎの点につきましてご協力いただきますよう、あわせてお願いいたします。

#### (1) 平成6年度会費および論文誌購読費の納入

平成6年度会費および購読費の納付書(郵便振替用紙)を1月中旬に発送いたしましたので、未納の方は早急にご納入いただきますようお願いいたします。

なお、平成7年度会費から自動振替を希望する正会員(一括扱いの会員は除く)の方は、「預金口座振替依頼書」(11月号本欄添付)によりお申込みください。

#### (2) 大学学部および修士課程卒業予定の学生会員の会費

本年3月学部卒業(修士課程終了)予定の学生会員の方には、平成6年度会費は正会員(9,600円)として請求いたしました。ただし、修士課程・博士課程へ進まれる方は学生会員として継続できますので、進学コース・修了予定年月および送本先を変更する場合はその宛先等をご連絡ください。

なお、1月上旬に「変更連絡届」を送付いたしましたので、ご利用ください。

※会員種別の改定により、平成6年度から大学院博士課程(博士後期課程)まで学生会員として取扱うことになりました。現在博士課程在学中の方は、「変更連絡届」(偶数月号に添付)にてご連絡ください。

#### (3) 学会誌等の送本先変更

勤務先、自宅住所に変更のある方は、必ず所定の「変更連絡届」(偶数月号に添付)にて早急にご連絡ください。変更の受付は毎月20日に締切り、翌月号から変更いたします。21日以降受け分けの変更は翌々月号からとなりますのでご了承ください。

#### (4) 論文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」(月刊)は有料頒布となっておりますが、会員価格にてご購読いただけます。

まだ購読されていない方は、「論文誌購読申込書」(1月号添付)によりお申込みください。

#### (5) 退会

書面(様式任意、はがき可)にてお申出ください。

なお、今年度会費が未納の場合には、送本した学会誌を会費月割りで精算のうえ請求させていただきます。退会のお申出がありませんと、会費未納のため本学会から除名することがありますので、ご承知ください。

※変更、新規購読等のご連絡は必ず会員番号を明記の上、事務局会員係までお願いいたします。

#### (6) 新入会員勧誘のお願い

3月は入会に絶好のチャンスです。本号末尾綴込みの入会申込書にて、入会をご勧誘ください。情報処理関連の学術研究あるいは事業に携わっている方、関心をお持ちの方の入会をお待ちしております。



マルチメディア通信と分散処理研究会  
通信プロトコルのテストに関するワークショップ  
論文募集

CALL FOR PAPERS - IWPTS'94



**INTAP**

7th IFIP WG6.1 Int. Workshop on  
Protocol Test Systems

8-10 November 1994

Kogakuin Univ., Shinjuku Tokyo, Japan

Sponsored by IFIP TC6/WG6.1

In cooperation with IPS of JAPAN and INTAP



IFIP

The seventh IFIP WG6.1 International Workshop on Protocol Test Systems (IWPTS) will be held on November 8-10, 1994 in Tokyo. The aim of the workshop is to be a meeting point between research and industry and between theory and practice of the testing of data communication systems. The workshop will consist of presentations of reviewed and invited papers, tool demonstrations and discussion sessions in small groups.

**Themes**

Areas of interest include, but are not limited to:

- Methodology and architecture
- Test sequences generation and test results analysis
- Formalization and theory for testing
- Practical testing experience
- Testing for high-speed and multimedia protocols
- ATM and ODP testing

**Instructions to Authors**

Full papers must be written in English and should not exceed fifteen pages single spaced. The front page should contain the authors names, affiliation, address, phone, fax and email address, with an abstract. All submitted papers will be reviewed.

**Submission**

The deadline for submission is April 11, 1994. Authors are requested to submit five copies of their papers to a Program Co-Chair :

Prof. Teruo Higashino  
Department of Information and Computer Sciences, Osaka University  
Toyonaka, Osaka 560, Japan  
Phone: +81-6-850-3069 Fax: +81-6-850-3059  
Email: higashino@ics.es.osaka-u.ac.jp

**Proceedings**

A participants proceedings will be made available at the workshop and the final proceedings will be published by North-Holland in the IFIP Transactions series. The accepted papers not presented by the authors at the workshop will not be included in the final proceedings.

**Important Dates**

|                |                                                   |
|----------------|---------------------------------------------------|
| April 11, 1994 | Paper submission deadline                         |
| June 30, 1994  | Notification of acceptance to authors             |
| Aug. 31, 1994  | Camera-ready copy of participants proceedings due |
| Nov. 10, 1994  | Camera-ready copy of final proceedings due        |

**Organization**

General Co-Chairs

Norio Shiratori (Tohoku Univ., Japan) , Yoshihiko Yokoyama (INTAP, Japan)

Program Co-Chairs

Tadanori Mizuno (Shizuoka Univ., Japan), Teruo Higashino (Osaka Univ., Japan)

## 支部だより

### 東海支部 平成5年度東海支部奨励賞の表彰

平成5年度東海支部奨励賞は、「電気関係学会東海支部連合大会奨励賞」として、平成6年1月18日（火）に表彰された18名のうち、情報処理学会所属の下記論文発表者3名に対し授与されました。（受賞者の所属は発表当時のもの）

- 論文発表 平成5年度東海支部大会（電気関係学会東海支部連合大会）  
 平成5年10月1日～2日 信州大学工学部
- ・音声認識におけるドメインモデルを用いたリジェクト処理  
 藤井友康（日本電装基礎研究所 昭和34年8月27日生）
  - ・オブジェクト指向言語におけるクラス代入の型正当性の保存について  
 早野孝彦（名古屋大学大学院工学研究科 昭和43年3月31日生）
  - ・ユークリッド距離変換アルゴリズムの改良  
 加藤敏洋（名古屋大学大学院工学研究科 昭和45年3月1日生）



## 本会協賛等の行事案内\*

### <国内会議>

- SICEセミナー—ソフト戦略思考入門—  
 平成6年6月1日（水） 東京・早稲田大学
- 第10回ヒューマン・インタフェース・シンポジウム  
 平成6年10月18日（火）～20日（木） 東京・早稲田大学
- 電気学会電力・エネルギー部門平成6年大会  
 平成6年7月27日（水）～29日（金） 東京電機大学
- 第204回講習会「企業戦略部品を支える超精密技術」  
 平成6年5月20日（金） 東京・化学会館
- 第8回通信サービスシンポジウム  
 平成6年4月22日（金） 東京・松下電器産業(株)
- 第205回講習会「超LSIの高集積化を進めるプラナリゼーション技術」  
 平成6年6月16日（木） 東京・家の光会館
- 第9回産業における画像センシング技術シンポジウム  
 平成6年6月9日（木）～10日（金） パシフィコ横浜
- Advanced Imaging '94 「高精細画像技術の進展」  
 1994年4月13日 東京・機械振興会館

### <国際会議>

- 離散系シミュレーション国際シンポジウム  
 1994年8月1日（月）～2日（火） 東京・早稲田大学
- ISADS'95—第2回自律分散システム国際会議  
 1995年4月10日～12日 アーバイン、カリフォルニア（米国）
- ASP—DAC'95/CHDL'95/VLSI'95  
 1995年8月29日（火）～9月1日（金） 千葉・幕張メッセ
- Asia Display'95—第15回ディスプレイ国際会議  
 1995年10月15日（日）～18日（水） アクトシティ浜松
- APCHDL'94—第2回ハードウェア記述言語に関するアジア太平洋国際会議  
 1994年10月24日（月）～25日（火） 愛知県豊橋市（予定）
- 先端データベース技術とその統合に関する国際シンポジウム  
 1994年10月26日（水）～28日（金） 奈良県新公会堂

\*詳細は本号会議案内欄参照

## 教官募集



### ○神奈川工科大学工学部情報工学科

募集人員 教授 1名  
 専門分野 計算機システム, 計算機アーキテクチャ, データ構造等  
 首任時期 平成6年9月1日希望  
 応募資格 博士号取得者  
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷  
 応募締切 平成6年4月30日  
 送付先 〒243-02 厚木市下荻野1030  
 問合せ先 神奈川工科大学情報工学科 大前義次  
 Tel. (0462)41-1211(ext. 3491) Fax. (0462)42-3737

### ○大阪府立工業高等専門学校電子情報工学科

募集人員 助教授または講師 1名  
 専門分野 情報工学分野 (ソフトウェア工学, シスプロ論等), パワーエレクトロニクス分野 (ロボット制御等)  
 首任時期 平成7年4月1日  
 応募資格 修士課程修了 (含, 平成7年3月修了見込) またはそれと同等の学力を有する37歳以下の方  
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト (ともに所定様式あり, ご請求ください), 成績証明書 (学部および大学院, 新卒者のみ)  
 応募締切 平成6年5月13日  
 送付先 〒572 寝屋川市幸町26-12  
 問合せ先 大阪府立工業高等専門学校電子情報工学科主任 平田昌也  
 Tel. (0720)21-6401(ext. 550) Fax. (0720)21-0134

### ○山口大学工学部知能情報システム工学科

募集人員 教授, 助教授各1名  
 担当科目 教授: 計算機工学講座「計算機構成学」教育研究分野担当  
 助教授: 知能工学講座「生体情報工学」教育研究分野所属  
 専門分野 教授: 計算機工学, 計算機アーキテクチャ, 論理設計, 回路設計ならびにこれに関連する分野  
 助教授: ニューロコンピューティング, 生体情報処理学, 神経回路網学ならびにこれに関連する分野  
 首任時期 平成6年10月1日  
 応募資格 博士号取得者で大学院博士課程の研究指導のできる方。教授は52歳以上, 助教授は37歳程度の方  
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷 (含, 学位論文) をそれぞれ2部, 助教授はこれらに加えて推薦書  
 応募締切 平成6年5月31日  
 送付先 〒755 宇部市常盤台2557  
 問合せ先 山口大学工学部知能情報システム工学科長 田中 稔  
 Tel. (0836)35-9473, (0836)31-5100(ext. 4431) Fax. (0836)29-0053

○鳥取大学工学部知能情報工学科

募集人員 助教授1名  
所 属 計算機工学講座  
着任時期 平成6年10月以降  
応募資格 博士号取得者で40歳以下の方  
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷 (コピー可)  
応募締切 平成6年5月31日  
送 付 先 〒680 鳥取市湖山町4-101 鳥取大学工学部知能情報工学科長  
問合せ先 計算機工学講座 増山 博 Tel. (0857)31-5220

○広島大学総合科学部

募集人員 教授, 助教授または講師1名  
所 属 数理情報科学コース 情報行動基礎研究講座, 大学院は工学研究科情報工学専攻博士課程担当の予定  
担当科目 人工知能, 言語理論とオートマトン, 情報理論, 情報学, プログラミング実習など  
専門分野 情報科学とくに人工知能とその周辺分野  
着任時期 平成6年10月1日  
応募資格 博士号取得者  
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文著書別刷, 各研究論文の内容あるいは研究経過の要約, 今後の抱負と研究計画, 推薦書または本人に関する所見を求め得る方の氏名・連絡先 (2名), その他本人が有用と思う資料  
応募締切 平成6年5月31日  
送 付 先 〒724 東広島市鏡山1-7-1 広島大学総合科学部数理情報科学コース 山縣敬一  
問合せ先 Tel. (0824)22-7111(ext. 6471, 6465) Fax. (0824)24-0756

○琉球大学工学部情報工学科

募集人員 助教授または講師1名  
所 属 システム情報工学講座  
専門分野 ソフトウェア工学, データベース, ネットワーク, システムソフトウェア, 人工知能, 認知科学等のソフトウェア関連分野  
応募資格 博士号取得者で大学院課程を担当できる35歳前後の方  
着任時期 平成6年10月1日またはそれ以降のなるべく早い時期  
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷, 健康診断書  
応募締切 平成6年6月30日 (適任者が得られ次第締切の場合があります)  
送 付 先 〒903-01 沖縄県西原町字千原1  
琉球大学工学部長 喜屋武盛基  
問合せ先 情報工学科 翁長健治 Tel. (098)895-2221(ext. 3259) Fax. (098)895-2688

○広島大学工学部第二類 (電気系)

募集人員 助教授1名  
所 属 回路・システム工学大講座  
専門分野 知能情報工学  
着任時期 平成6年10月1日 (予定)  
応募資格 博士号取得者  
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷 (含, 学位論文), 推薦書  
応募締切 平成6年6月30日  
送 付 先 〒724 東広島市鏡山1-4-1  
問合せ先 広島大学工学部第二類 回路・システム工学大講座主任教授 籾元孝夫  
Tel. (0824)24-7672 Fax. (0824)22-7195

# 雑 報



## ○平成7年度 基礎科学特別研究員募集

- 採用予定 25名  
 受入機関 理化学研究所  
 募集分野 物理学, 化学, 生物学, 工学の各分野で, 理化学研究所で実施可能な研究  
 応募資格 平成7年4月1日現在35歳未満の健康な者で, 博士号取得者またはこれと同等の研究能力を有すると認められる者.  
 待遇等 ①謝金 月額50万円程度(社会保険料, 税込)  
 ②通勤費 実費(上限4万円/月)  
 ③住宅費 家賃の一部支給  
 以上のほか, 研究費として138万/年程度  
 契約期間 連続して最長3年間を限度とし, 毎年度所要の評価により契約更新  
 募集締切 平成6年6月15日(水)必着. 応募者は5月31日(火)までに問合せのこと.  
 問合せ先 〒351-01 埼玉県和光市広沢2-1 理化学研究所研究業務部・基礎科学特別研究員制度担当  
 Tel. (048)462-1111(ext.2461~3) Fax. (048)462-4608, (048)463-3687(直通)

## ○第3回 大川出版賞図書推薦のお願いについて

(財)大川情報通信基金(理事長 大川功)の設立5周年を記念して, 1992年5月に創設されたもので, 情報通信分野に関する優れた図書について, これを表彰し, 著者に対して賞状と副賞として銀メダル, 賞金1件あたり100万円を, また出版社には賞状と賞牌をそれぞれ贈る.

推薦方法 所定の大川出版賞候補推薦書に必要事項を記入のうえ, 下記あてに送ってください.

推薦締切 1994年4月30日(土)

問合せ先 〒107 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル31階

推薦用紙 (株)CSK内 (財)大川情報通信基金「大川出版賞」

請求先 事務局 Tel.(03)3505-6048 Fax.(03)3582-2826

## ○電気通信普及財団「平成6年度福祉, 文化事業および海外渡航旅費援助」

電気通信を利用した福祉, 文化事業および電気通信に関する学術交流, 国際協力に対する援助を行います. 詳細は下記へお問い合わせください..

申込受付

特別講義開設援助 平成6年5月1日~9月30日

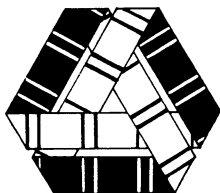
海外渡航旅費援助 毎年4月, 6月, 8月, 10月, 12月, 2月の各1日まで(必着)にそれぞれ翌月1日から1年先までの旅行について, 受付ける.

その他の援助 平成6年5月1日~5月31日

問合せ先 〒105 東京都港区西新橋1-6-11 西新橋光和ビル5階 (財)電気通信普及財団

Tel.(03)3580-3411 Fax.(03)3580-3488

会議案内



各会議末のコードは、整理番号です(\*:本年既掲載分, \*\*:昨年既掲載分)。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手72円を同封のうえ、請求ください。

(国内連絡先が記載されている場合は除く。)

1. 開催日 2. 会場 3. 問合せ先 4. その他

国際会議

Technology Japan '94 - 第12回国際先端技術総展 (004)

- 1994年4月20日(水)~22日(金)
- 東京国際見本市会場(晴海)
- 日本工業新聞社 Tel. (03)3292-3561 Fax. (03)3292-6137
- 入場料: 1,500円

New Directions in Simulation for Manufacturing and Communications - 離散系シミュレーション国際シンポジウム (005)

- 1994年8月1日(月)~2日(火)
- 早稲田大学国際会議場(東京・新宿)
- (社)日本オペレーションズ・リサーチ学会  
Tel. (03)3815-3351 Fax. (03)3815-3352

IEEE 6th Int'l. Conf. on Tools with Artificial Intelligence (006)

- 1994年11月6日(日)~9日(水)
- ニューオリンズ(米国)
- 富士通(株)ビジネス通信事業本部 青山 幹雄  
Tel. (044)754-4111 Fax. (044)754-4223  
e-mail: mikio@exs.ts.fujitsu.co.jp
- 論文締切: 1994年4月20日

ISADS '95 - 第2回自律分散システム国際会議 (007)

- 1995年4月10日(月)~12日(水)
- アーバイン, カリフォルニア(米国)
- (株)日立製作所 システム開発研究所 森 欣司  
Tel. (044)966-9111

Asia South Pacific Design Automation Conf. (008)

IFIP Int'l. Symposium on Computer Hardware Description Languages and their applications (009)

IFIP Int'l. Symposium on Very Large Scale Intergration (010)

- 1995年8月29日(火)~9月1日(金)

- 幕張メッセ(千葉)
- (株)日立製作所 半導体事業部技術開発本部 小澤 時典  
Tel. (0423)25-1111(ext. 3211)

Asia Display '95 - 第15回ディスプレイ国際会議 (011)

- 1995年10月15日(日)~18日(水)
- アクトシティ浜松(静岡県浜松市板屋町)
- 主催: (社)テレビジョン学会, SID  
問合せ先: 三菱電機(株)開発本部 新居 宏三  
Tel. (06)497-7616 Fax. (06)497-7725
- 参加費: 会員 40,000円 非会員 45,000円 学生15,000円

APCHDL '94 - 第2回ハードウェア記述言語に関するアジア太平洋国際会議 (012)

- 1994年10月24日(月)~25日(火)
- 愛知県豊橋市(予定)
- 豊橋技術科学大学情報工学系 今井 正治  
Tel. (0532)47-0111(ext. 509) Fax. (0532)48-9079
- アブストラクト締切: 1994年4月30日

先端データベース技術とその統合に関する国際シンポジウム

- 1994年10月26日(水)~28日(金)
- 奈良県新公会堂
- 論文送付先: 〒630-01 生駒市高山町8916-5  
奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科  
吉川 正俊 Tel. (07437)2-5331 Fax. (07437)2-5219  
e-mail: yosikawa@is.aist-nara.ac.jp
- 論文投稿締切: 1994年7月1日

国内会議

SICE セミナー - ソフト戦略思考入門 -

- 1994年6月1日(水)
- 早稲田大学システム科学研究所(東京都新宿区西新宿)
- (社)計測自動制御学会  
Tel. (03)3814-4121 Fax. (03)3814-4699
- 参加費: 会員 15,000円 学生会員 5,000円 会員外20,000円

第10回ヒューマン・インタフェース・シンポジウム

- 1994年10月18日(火)~20日(木)
- 早稲田大学国際会議場(東京都新宿区)
- 主催: (社)計測自動制御学会  
問合せ先: (株)日立製作所システム開発研究所  
関西システムラボラトリ 小嶋 弘行  
Tel. (06)281-1500 Fax. (06)281-1529  
e-mail: his94@sdl.hitachi.co.jp
- 参加費: 部会員 13,000円 会員外 17,000円

電気学会電力・エネルギー部門平成6年大会

- 平成6年7月27日(水)~29日(金)
- 東京電機大学工学部神田キャンパス
- (社)電気学会 Tel. (03)3201-0983 Fax. (03)3201-1983

第204回講習会「企業戦略部品を支える超精密技術」

- 平成6年5月20日(金)
- 化学会館(東京都千代田区神田駿河台)
- (社)精密工学会

Tel. (03)3362-1979 Fax. (03)3367-0994

4. 参加費:会員 28,000円 非会員 42,000円 学生会員 無料

**第8回通信サービスシンポジウム**

1. 平成6年4月22日(金)
2. 松下電器産業(株) 情報通信システムセンター(東京都品川区)
3. 主催:(社)電子情報通信学会
4. 問合せ先:NTT横須賀研究開発センター-412 A 阿部久仁子  
Tel. (0468)59-4950 Fax. (0468)59-3784

**第31回シンポジウム「信頼性-情報通信システムの性能評価」**

1. 平成6年5月24日(火)
2. 中部品質管理協会(名古屋市中村区名駅)
3. (社)オペレーションズ・リサーチ学会  
Tel. (03)3815-3351
4. 参加費:正・賛助会員 2,000円 学生会員 1,000円  
非会員 3,000円

**第205回講習会「超LSIの高集積化を進めるプラナリゼーション技術」**

1. 平成6年6月16日(木)
2. 家の光会館(東京都新宿区市谷船河原町)
3. (社)精密工学会  
Tel. (03)3362-1979 Fax. (03)3367-0994
4. 参加費:会員 28,000円 非会員 42,000円 学生会員 無料

**第9回産業における画像センシング技術シンポジウム**

1. 平成6年6月9日(木)~10日(金)
2. パシフィコ横浜(横浜市西区みなとみらい)
3. (社)日本非破壊検査協会  
Tel. (03)3863-6521 Fax. (03)3863-6524
4. 参加費:一般 20,000円 学生 5,000円  
講演申込締切:平成6年4月1日(金)

**Advanced Imaging '94 「高精細画像技術の進展」**

1. 1994年4月13日(水)
2. 機械振興会館(東京都港区芝公園)
3. 画像電子学会  
Tel. (03)3490-2940 Fax. (03)3490-3810

**編集室****会員の声**

- ・1月号特集「リアルタイムシステム」について、図が概念図ばかりで具体例の図が少なかった。やや理論寄りで一般読者に分かりにくいのではないかと。(伴野浩三/三菱電機)
- ・1月号解説「クラスNPの新しい特徴づけ」のような純粋な理論の記事を載せるのはさぞ勇気が必要だったと思います。なぜなら日本では企業は言うまでもなく多くの大学でさえ「NP」に関する研究はほとんど行われていないし、また大学においてちゃんと計算量というものは教えられていない。よって、この記事が暗に前記としている計算量に関する知識だってほとんどの人が持っていないと思われる。このような難しい話題を取り扱った記事は特集と連載にして、計算量についての基礎的知識、簡単な歴史などについて述べたあとに掲載されるべきでしょう。

(田中圭介/北陸先端大)

・1月号に限ったことではないが、概念的な記事のときは、未知の単語が多く、それらの説明がないため途中で読むのを諦めることが多い。テーマに対し非常に興味がある場合、これは大変残念なことと思う。(匿名希望)

**事務局だより**

・学会誌をパラパラとめくってみてください。解説記事と会告記事の書体が違うことにお気づきのことと思います。実は会告の方は今流行りのDTP(Desk Top Publishing)を使って事務局で版下を作っているのです。まず事務局の各担当から原稿は全てフロッピーディスクで貰い、それから編集がDTPに吸い上げてレイアウト作業をするわけです。私達で全てを作ってしまうため、入稿から版下作成までの時間は大幅に短縮され、印刷料金も安くなりました。しかし職人さんに活字を組んでもらっていた時代と違って、今度は全部自分たちでレイアウトしていかなければなりませんので、ここまで辿り着くのは、実際大変な作業でした(楽しみでもあったのですが)。今になって活字職人さんの的確な判断力とセンスには頭が下がります。毎号試行錯誤の連続ですが、今後より見やすい学会誌を目指して日々努力していきますので、ご意見などありましたらお聞かせください。

(後路/学会誌編集担当)

**複写される方に****Notice about Photocopying**

In Order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Akasaka Branch Office  
Japan Reprographic Rights Center  
c/o The Copyright Council of the Academic Societies  
704-42-6 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107, Japan  
Phone: 81-3-3475-4621・5618  
Fax : 81-3-3403-1738

**R** <学協会著作権協議会委託>

本誌からの複写許諾は、学協会著作権協議会から得て下さい。

〒107 東京都港区赤坂9-6-42-704  
Tel (03)3475-4621・5618  
Fax. (03)3403-1738

